Clazzio

# SEAT COVER

# TOYOTA

# PRIUS
# PRIUS PHV

専用シートカバー取付説明書

1077/1078/1220/1221

# SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関しての
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

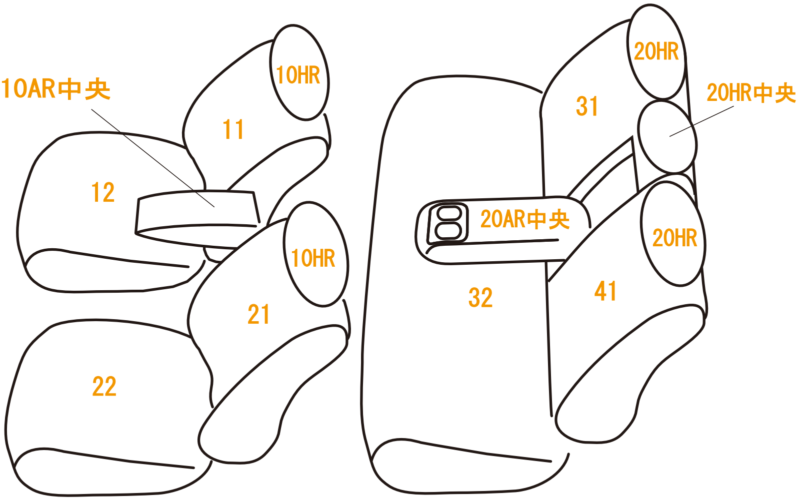
…> 05-24

シートカバーの装着方法

…> 25-26

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

## 本製品シート形状とパーツの名称




※アームレスト装備車のシート配置図です

取付必要工具

❶ クラッツィオ 専用 ヘラ（付属）

## シートカバー装着前に必ずお読みください

■ 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または当社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後１週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。

■ 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取り付けを行っていただくことで、生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
どうしてもシワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または当社までご連絡ください。

■ 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。

■ 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合がありますので、予めご了承ください。

■ 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。
また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

■ 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## ⚠警告　サイドエアバッグについて

■ 本製品は１列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品 ）
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく取り付け出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2019年8月現在）自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関しての注意事項

■ 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。

■ 本製品を直射日光に長時間あてられると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温・多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。

■ 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

■ 当社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。

■ シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。

■ 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。

■ 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。
その際はご迷惑をおかけしますが当社までお問い合わせください。

■ 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。

■ 取り付け時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時におきた車輌への損傷、車輌の不具合、人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取り付け、取り付け取り外し等の工賃、取り付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

# Step 1 ‥‥> 1 列目座面の装着方法

※1 列目座面シートは主にシートリフター装備車の手動シートで説明しています。
パワーシート車・シートリフター装備車は、シートを一番高い状態にして、シートカバーの装着を行って下さい。

1 始めに背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏でフックにゴムを引っ掛けて固定しています。ゴムの固定をほどき、図のように生地を外します。

2 カバーの内側面の生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープに保護テープが付いている場合は、固定する前に外すようにして下さい。

3 シートベルトバックルにカバーの加工穴を通します。

4 シートのラインに合わせて、カバーを前から後ろへかぶせます。

5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを前に倒すと隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。

6 生地の両端に付いている先端にバックルの付いたベルトを、シートの隙間が広い中央部分から入れ込みます。ベルトがねじれないように入れ込んで下さい。

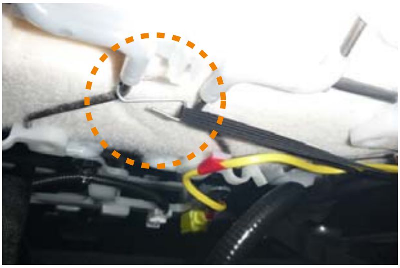
7 ５ページ５番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線・快適温熱シート装備車はシートヒーターの配線に注意して生地を引き出して下さい。

8 ５ページ６番で入れ込んだベルトを引き出します。ベルトは配線の外側に来るように中央部分から端へずらします。ベルト部分は強く引き過ぎると生地が破れるので、ご注意下さい。

9 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込み固定します。

10 運転席側のカバー外側面後ろ側にゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。
※運転席パワーシート・シートリフター未装備車・助手席のカバーにゴムは付いていません。

11 入れ込んだゴムを、シートの背面裏から引き出します。



12 ゴムに付属の金属フックを付けて、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

13 カバー外側のシート付け根部分は隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチック部の内側に沿わせるように、生地を入れ込みます。

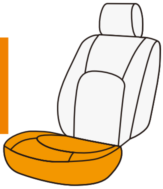
14 カバー内側面の裏側に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。５ページ２番の説明にもあるようにマジックテープに保護テープが付いている場合はそちらを外し固定して下さい。

15 カバー内側面下の前後にマジックテープが付いています。こちらも直接シートの生地に貼り付けて固定します。

16 手動シートの図です。
カバーの前側に付いている４本のベルトをシート裏を通してシートの背面へ入れ込みます。

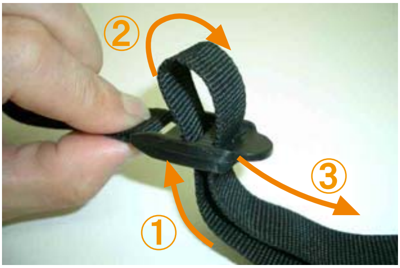
17 パワーシートの図です。
カバーの前側に付いている４本のベルトをプラスチック部の内側を通して、プラスチック部の下側からベルトを引き出します。
引き出したベルトをシート裏へ入れ込みます。

18 パワーシートのシート背面裏側です。
入れ込んだベルトを、シート裏のパーツの上側を通すようにして、シートの背面へ入れ込みます。
※パーツの上側にベルトを通すようにするには、シートを一番高い位置まで上げておかないと出来無いので、ご注意下さい。



19 シートの背面からベルトを引き出します。

20 ６ページ7番・８番で引き出した生地に付いているバックルに、引き出したベルトを通して固定します。




21 ベルトは①～③の順番でバックルに通して引き、カバーの前後を固定します。ベルトは強く引き過ぎると生地が裂けたり、カバーの表面が浮いてしまうので適度に調整して下さい。

22 カバーの一番内側のベルトは図の位置で固定されます。

23 カバーの背面は図のようになります。

24 カバーのラインを整えて１列目運転席座面の完成です。
助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

# Step 2 ···> 1列目背もたれの装着方法

一部カバーに同梱しているビニールはカバーの装着を補助するものですが、プリウスのカバーはファスナーが付いているため、ビニールは使用せずにカバーの装着を行えます。

1 カバー外側面のファスナーを開いてシートにかぶせます。５ページ１番で外した生地をめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。
※この際、助手席ファスナー付きポケット装備車は、めくり上げた生地をポケットの手前で折りたたみ、ポケットを生地で覆ってしまわないようにご注意下さい。

2 シートのラインを合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。この際シート先端の突起した肩口まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。

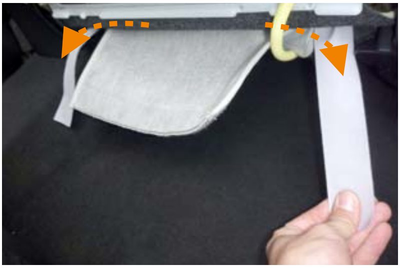
3 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から出します。台座の方側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。

4 生地の伸びを利用して図のように台座を出します。

5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを前に倒すと隙間が広くなり生地が入れ込みやすくなります。

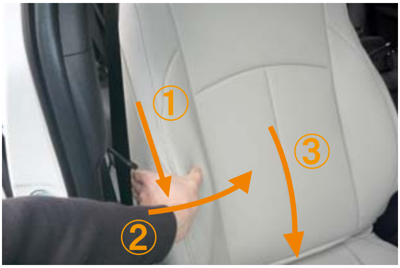
6 生地の両端に付いているマジックテープをシートの隙間が広い中央部分から入れ込みます。マジックテープがねじれないように入れ込んで下さい。

7　９ページ５番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この際、サイドエアバッグの配線・快適温熱シート装備車はシートヒーターの配線に注意して生地を引き出して下さい。



8　９ページ６番で入れ込んだマジックテープを引き出します。マジックテープは配線の外側に来るように中央部分から端へずらします。マジックテープ部分は強く引き過ぎると生地が破れたり縫製糸が切れるので、ご注意下さい。

9　シートを後ろへ倒すとマジックテープが付いている生地部分が見えます。こちらにしわが寄らないようにしっかりとシートに馴染ませて下さい。




10　カバー側面の生地を、図の①~③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。

11　カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。

12　ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。

13 １０ページ7番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。

14 １０ページ8番で引き出したマジックテープとカバーの背面下を固定します。引き出したマジックテープは長めに設計しています。丁度良い位置で固定して下さい。

15 カバー背面下のゴムに付属の金属フックを付けます。

16 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

17 助手席ファスナー付きポケット装備車は、ポケットを使用する際に、まずシートカバーのファスナーを開き、次に純正シート地のファスナーを開いて使用するようになります。

18 カバーのラインを整えて１列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

# Step 3 ···> ２列目座面の装着方法

２列目座面シートは車体からシートを外してカバーの装着を行います。座面シートを外すにはかなり力を入れてシートを持ち上げる必要があります。怪我などをされないようにご注意下さい。

1 まずは図からシートを固定しているフックの位置を確認して下さい。車体側に受けがあり、シートにフックが２か所ずつあります。

2 フックの固定は真上にしっかりとシートを持ち上げて外します。シート裏のフックのすぐ横に手を添えて、片側ずつ持ち上げます。誤った位置を持ってシートを持ち上げると、シートのクッションのみがめくれるようになるので、ご注意下さい。

3 フック２か所の固定が外れたら、シートを持ち上げた状態のシート裏で、３点式中央シートベルトの固定を外します。図はすでにシートベルトを外しています。中央シートベルトバックルの図の位置を、先端の細いもので押すと、シートベルトの固定が外れます。図では爪楊枝を使用しています。

4 中央シートベルトをシートから抜き出します。

5 固定を外したシートを、車外の作業が行いやすい場所へ運び出します。シートを運ぶ際は車体に傷を付けたりしないように慎重に運び出して下さい。

6 カバー裏に付いているベルト４本を、チャイルドシート固定用に開いているシートの穴に通します。中央２本のベルトはどこの穴にも通さないので、ご注意下さい。

12P▶

7 シート背面の図のコの時型のフックにカバーの加工穴を通します。

8 シート背面の両端に、カバーのマジックテープを直接貼り付けて固定します。

9 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。

10 シートを裏返してカバー前後のベルト６本を固定します。

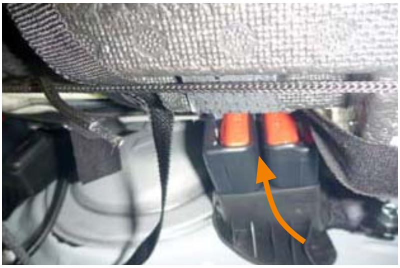
11 カバー側面の生地をシートの裏へしっかり回るようにかぶせます。

12 カバーの側面から出ているヒモの方側で、図のように輪を作ります。

**13** １３ページ１２番で作った輪にもう片側のヒモを通します。通したヒモを引き、カバーの下周りを絞り込み結び留めます。

**14** シートの裏は図のようになります。

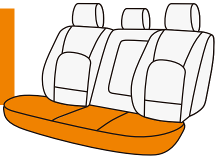
**15** シートを表に向けてカバーのラインを整えます。シートベルトバックル部分の生地はまだ出したままにしておきます。
シートは２列目背もたれカバー装着後、車体に戻します。



**16** ２列目背もたれカバー装着後、シートを元に戻します。
シートを車体に戻す際、シートベルトバックルをシートの加工穴に合わせて入れ込みます。

**17** シートベルトバックルの収納部にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。

**18** １２ページ３番で外した中央シートベルトをバックルに固定します。



**19** シートベルトバックルとシートの隙間は大変狭いため、バックルがなかなか出てこない場合はシートベルトを差し込み引き出すと作業が行いやすくなります。

**20** シートを車体に元通り固定して、カバーのラインを整えて、２列目座面の完成です。

## Step 4 …> ２列目背もたれの装着方法

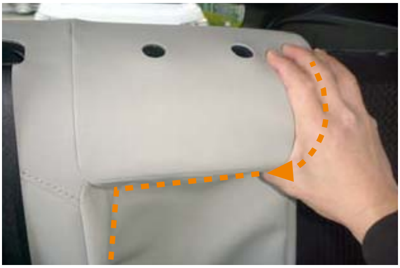
※図は２列目アームレスト装備車で説明を行っています。
アームレスト未装備車も形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行うので、一緒にご確認下さい。

**1** カバーの装着を行う前に、トランク側からラゲージボードを外します。

**2** カバーの装着を行います。
始めにカバーの加工穴に中央シートベルトを通します。

**3** アームレストを斜めに倒してカバーの加工穴から出します。

**4** カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



**5** アームレストの収納部は特にしっかりとシートのラインを整えます。

**6** ヘッドレストの台座を取り出します。

**7** アームレストの下から、先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は入れ込もうとしている手を添えたまま、アームレストを倒す・起こすと繰り返すことで、生地が徐々に入り込んでいきます。

**8** アームレストを倒して生地を引き出します。

**9** シートの下からカバーを入れ込みます。

10 シートを前に倒して１６ページ９番で入れ込んだ生地を引き出します。
この際座面シートを外しているので、シートを前に倒した際、カバーを傷付けたり、汚したりしないようにご注意下さい。

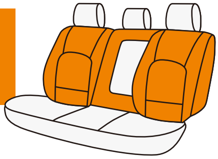
11 引き出した生地とカバーの背面下をファスナーで固定します。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。

12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。

13 カバー内側面のファスナーも生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。

14 シートの内側です。アームレスト軸部分のプラスチック部のカバーは、図のような形状をしています。

15 アームレスト軸部分のプラスチック部に、へラなどを使用して１４番の生地を入れ込みます。



16 アームレスト軸部分の図のプラスチック部に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。

17 １６ページ8番で引き出した生地とアームレスト収納部下の生地をマジックテープで固定します。
１６ページ8番で引き出した生地は、アームレスト軸部分のプラスチック部に生地は入れ込みません。

18 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。リクライニングレバー部のプラスチック部はツメが外れやすくなっているので、作業は慎重に行って下さい。

19 中央シートベルトのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。中央シートベルトのプラスチック部はツメが外れやすくなっているので、作業は慎重に行って下さい。

20 図のシートを固定する受けの部分にカバーの加工穴があっているか確認して下さい。加工穴は少し大きめに開けていますが、ずれて受け部分を塞いで使用すると、生地が破れる恐れがあるので、ご注意下さい。

21 カバーのラインを整えて、２列目運転席側背もたれカバーの完成です。アームレスト収納部はアームレストカバー装着後、アームレストをしばらく背もたれ側に収めた状態にしておくと生地がシートに馴染んでいきます。
助手席側・アームレスト未装備車も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

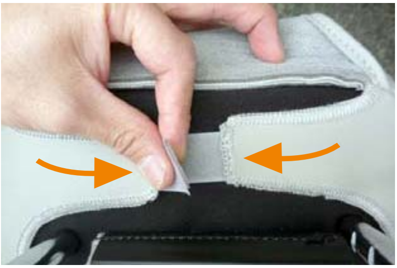
18P▶

# Step 5 ･･･> ヘッドレストの装着方法

l一部のカバーに同梱しているビニールをヘッドレストにかぶせてカバーの装着を行うと作業が行いやすくなります。ビニールはカバー装着後、破って取り出して下さい。※ベーシックシリーズには同梱されません。

**1** カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。

**2** ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。

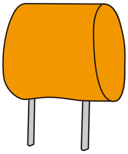


**3** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。

**4** ヘッドレスト裏でプラフックを固定します。

**5** プラフックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。

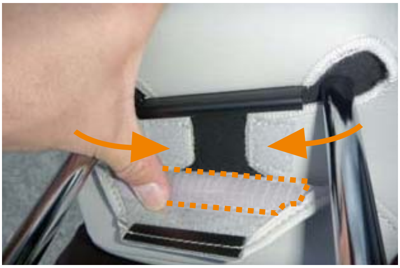
**6** ヘッドレスト裏は図のようになります。



**7** カバーのラインを整えて、１列目ヘッドレストの完成です。

**8** ２列目ヘッドレストです。２列目ヘッドレストは図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。

**9** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



**10** ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定して、１列目同様にプラフックを固定します。

**11** ２列目ヘッドレストの裏は図のようになります。２列目ヘッドレストはカバーをかぶせやすくするために、軸周りの穴を大きめに開けています。

**12** カバーのラインを整えて、２列目ヘッドレストの完成です。
２列目中央ヘッドレスも形状は異なりますが同様に取り付けます。

20P▶

# Step 6 ···> 1列目アームレストの装着方法

**1** カバーの前後を確かめます。図の点線のカーブの部分が短い方が前になります。

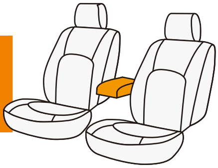
**2** アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。

**3** アームレストの助手席側です。
アームレストのフタを開けながら隙間に生地を入れ込みます。

**4** アームレストのフタを開けて入れ込んだ生地を引き出します。

**5** ここからはひたすらフチに生地を入れ込んでいきます。ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。アームレストのフタを開けた状態で作業をするので、破損させないように生地を入れ込む際は、フタ部分をしっかりと支えて作業を行って下さい。

**6** アームレストの先端部分に生地を入れ込みます。生地が入れ込みづらい場合は、ヘラのみを隙間に入れ、生地の入る角度を確認してから生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



**7** アームレストの角は生地が重なり一番作業が大変になります。生地を入れ込みづらい場合は、ヘラなどを２本用意して、１本で隙間を広げるために差し込んだ状態にしてもう１本で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。

**10** アームレストのフタ裏側面です。図のように生地が収まります。

**8** 生地を入れ込んでいく際に、フタのツメが外れてしまう場合があります。ツメが外れた場合はフタを閉じて、上から押してツメを固定します。

**11** アームレストのフタ裏前側です。図のように生地が収まります。

**9** アームレストのフタ裏後ろ側です。図のように生地が収まります。

**12** カバーのラインを整えて、１列目アームレストの完成です。

22P▶

# Step 7 ···> ２列目アームレストの装着方法

1 カバーの入り口を裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。この際アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。

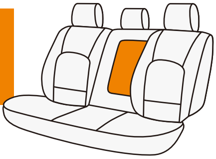
2 アームレストの助手席側付け根部分に、生地を巻き付けるようにかぶせます。

3 アームレスト全体にカバーをかぶせます。

4 アームレストの下から、先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は入れ込もうとしている手を添えたまま、アームレストを倒す・起こすと繰り返すことで、生地が徐々に入り込んでいきます。

5 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。

6 ヘッドレスト同様にプラフックで固定します。



# ⋯＞ 完成図

7 アームレスト軸部分の生地を、ヘラなどを使用して隙間にしっかり入れ込みます。

１列目

8 ドリンクホルダーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。。

２列目

9 カバーのラインを整えて、２列目アームレストの完成です。

２列目（アームレスト未装備車）

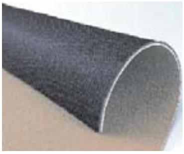
24P▶

# After Service

## 皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証･単品パーツ販売･生地の販売

1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
（巾135ｃｍ・メーター単位での販売となります）
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。


ご注文･お問合せは

**株式会社 イレブンインターナショナル**

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# ···> 生地別メンテナンス方法

## クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

### ウルトラスエード

**● ホコリや毛羽などの付着汚れ**
エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

**● 全体の汚れが気になる場合**
40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。
このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから（クリーナーの説明書に従ってください）、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

**⚠ ご注意**
本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。

### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス（布）で乾拭きしてください。

www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN INTERNATIONAL

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816